

令和5年度第1回生活困窮者自立支援プラットフォーム会議概要

日時 令和5年7月28日（金）午後1時30分から午後2時35分

場所 徳島県庁11階 講堂（徳島市万代町1丁目1番地）

出席者 県内福祉事務所、公的関係機関、自立相談支援機関、民間支援団体等 38団体

概要

1. 会長あいさつ（県国保・地域共生課長）

困窮者支援の手をよりきめ細やかに届けるため、当プラットフォームと推進連携協議会の組織を一体化した。本当に困っている皆様に公の支援が届くように、皆様の御協力をいただきたい。

2. 議題1 令和4年度活動経費助成団体の取組の状況について

○特定非営利活動法人XOXO（キッス）

同プラットフォームに参画するNPO法人子ども未来サポートもぐと連携し、ロッカーステーションなどの活動が順調に進んでいる。

○特定非営利活動法人フリースクール阿波風月庵

中学校卒業後のひきこもり支援のネットワークづくりについて、現在、阿波市と連携について話が進んでいる。

○一般社団法人子ども未来サポートもぐ

令和4年度は松茂町の保育所に通う世帯の約1/3にランチボックスを配布した。現在は月2回こども食堂とフードパントリーを実施し、こども食堂には80組ほど来訪がある。また、一元的な支援の窓口が必要だと思う。

○特定非営利活動法人フードバンク徳島

現在1名の方にロッカーステーションに対して、食料配布を実施している。

○特定非営利活動法人ぴあぞら

ひきこもりへの支援として「誰でも使える居場所づくり」を実施し、保健師、精神科など専門職のほか、学生ボランティアが参加し、利用者も増えているとの報告に加え、居場所づくりに自由に使える支援制度があればと思う。

○ラテルネソーシャルワークオフィス

令和4年度から継続して鳴門市と困窮世帯へのソーシャルワークについて話を進めており、今後実際のケースの対応を行っていく。

3. 議題2 各機関における各種施策の状況及び今後の取組について

○県（国保・地域共生課）

- ・生活困窮者自立支援事業の「自立相談・就労準備・家計改善」の3事業は県内すべての自治体で実施している。
- ・総相談件数は、「アウトリーチ」が毎月300件程度と令和2年度から増加傾向。
- ・昨年度より実施している、支援活動団体への「食料提供」の事業について、募集期間を令和5年9月30日まで延長して実施しているため、つながりのある団体への周知を依頼。

○徳島県生活困窮者自立支援協議会

コロナ禍が始まってから、より相談者の自身の特性に起因した相談が増えているが、アウトリーチの実践と民生児童委員との協力で適切に専門機関につなげていきたい。

○徳島県労働者福祉協議会

相談者の高齢化などにより、就労準備支援事業の件数は多くないがリーフレットなど媒体を工夫し、社協や役場などを通じて事業の周知を図りたい。

○徳島県民生委員児童委員協議会

日頃から、各機関や地域の方と連携した取組を実施しており、今後もネットワークづくりにより、困窮者支援について強化していきたい。

○徳島保護観察所

自立更生は、生活困窮の分野など、連携とネットワークを広く構築し、息の長い、継続支援に協力をお願いしたい。

4. 議題3 今年度における活動経費助成団体の募集について

- ・令和5年7月28日から困窮者支援の活動経費を助成する「活動支援団体」の募集を開始。
- ・1団体50万円を上限に「新たな取組」の経費を対象に助成。
- ・プラットフォームの参画団体で構成される選定会議で選定し、9月以降に助成を実施。

5. 意見交換

○徳島弁護士会

生活福祉資金の特例償還が開始されるなかで返済に関する相談があれば、弁護士へつないでいただきたい。

○司法書士会

困窮世帯への物価高騰の影響や、就職氷河期の单身男性などへの支援が今後大事になり、加えて悪徳商法への注意喚起などもしていきたい。

○美馬市福祉事務所

「8050問題に関係するひきこもり世帯」はどのように把握し、情報を届けるのか。

- ・一般社団法人子ども未来サポートもぐ

対象者の周囲にアプローチすることが必要で、つながりをたどっていけば支援が届くと考えます。

- ・県

県の食料提供による支援活動を実施した団体が、ある世帯への支援の際に、別の世帯の困窮状況について知ることがあったと聞く。そうした話をプラットフォームの団体同士で適切に共有し、支援につなげていきたい。

- 三好市福祉事務所

「電気が今日で止まる」といった世帯からの相談もある。まず食料提供があつての相談支援なので、フードバンクなどと連携が必要。

- 徳島県精神保健福祉協会

燃料補助、県営住宅のあっせん、交通費の補助や食料配布など各種支援施策の提言。

- 一般社団法人子ども未来サポートもぐ

(株)ドン・キホーテから食料支援物資の提供を受けており、農家からもらった食材を保育所の保護者に渡す活動などもしている。今後は困窮者支援と SDGs の両立したロールモデルを作っていきたい。